

研究課題名	新型コロナウイルス感染症患者の臨床疫学特性および予後関連因子の検討
研究の意義・目的	新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、国内でも依然その流行が続いています。本研究では、「大阪府新型コロナウイルス対応状況管理システム(kintone)」に集積した情報の提供を受けて、大阪府における新型コロナウイルス感染症の状況を明らかにします。また、新型コロナウイルス感染症が、どのような患者さんで重症化するのかということや、どうしたら感染拡大を防止できるのかについても、データ分析を実施します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2030年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	大阪府が「大阪府新型コロナウイルス対応状況管理システム(kintone)」に2020年1月以降に登録した、新型コロナウイルス感染症陽性の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	本研究では、上記システムに集積された情報を、「大阪府新型コロナウイルス対応状況管理システムにおける情報の提供等に関する事務要領」に基づいて、匿名化のうえ提供を受けます。この情報を分析することについて、ご了承ください。提供を受ける項目は、下記のとおりです。なお、対象者の方に対して、追加の調査を行うことはありません。 1)背景因子：年齢、性別、居住地、基礎疾患の有無および疾患名、妊娠の有無 2)新型コロナウイルス感染症関連：発症日、診断日、症状、クラスター名、濃厚接触者の有無 3)疾患の予後：死因、症状変動日および変動後の症状、入院日、退院日、退院理由、療養先、療養開始日、療養解除日、療養解除理由、酸素療法開始日・終了日、挿管開始日・終了日、人工呼吸器開始日・終了日、ICU開始日・終了日、その他開始日・終了日、治療・投薬内容、透析開始日・終了日、ECMO開始日・終了日
試料・情報の他機関への提供	大阪府から本学に提供された情報を、他機関に提供することはありません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学大学院医学研究科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学 教授 福島若葉
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 担当：福島若葉 電話：06-6645-3756